



母音調和

● 母音調和とは

ハンガリー語の音には母音調和という現象があります。これは、母音がいくつかのグループに分かれ、異なるグループに属する母音はひとつの語のなかに共存しないというものです。つまり、仲のよい母音と悪い母音があって、同じグループの母音は仲間になることができますが、グループがちがうと仲間になれないと考えてください。

母音を発音するときの舌の位置や形をよく観察してみてください。o と発音したときは、舌の後ろの方がもりあがっていませんか？ ハンガリー語の母音は、舌のもりあがっている一番高い位置が口の後ろの方にある後舌母音のグループと、それが前の方にある前舌母音のグループとに分かれます。さらに前舌母音は、唇を丸める円唇母音と丸めない非円唇母音の下位グループに分かれます。

後舌母音	a, á, o, ó, u, ú	
前舌母音	非円唇前舌母音	i, í, e, é
	円唇前舌母音	ö, ő, ü, ú

ハンガリー語の単語（語幹）は、本来、前舌母音だけからなる前舌母音語か、後舌母音だけからなる後舌母音語のどちらかです。しかし、外来語にはこの規則があてはまらないので、両者が混在している混合語もたくさんあります。

現代のハンガリー語では、厳密な意味での母音調和の現象は、語幹とそれにつく接

尾辞のあいだに見られます。ハンガリー語では、さまざまな接尾辞を使って、文法関係を表わしたり、新しい単語を派生します。このとき、語幹の母音と接尾辞の母音は同じグループに属するものでなければならぬので、母音調和の規則が重要になります。

● 語幹と接尾辞の母音調和

後舌母音語には後舌母音からなる接尾辞が、前舌母音語には前舌母音からなる接尾辞が接続します。場合によっては、最後の母音が円唇前舌母音である語には円唇前舌母音からなる接尾辞が接続します。

複合語はうしろの語によって判断します。

tanárnő 女性の先生 (tanár 先生 + nő 女性) → (円唇)前舌母音語

前舌母音と後舌母音が混在している混合語は、最後の母音によって判断します。

最後の母音が後舌母音の場合は、後舌母音語

telefon 電話

最後の母音が円唇前舌母音語の場合は、(円唇)前舌母音語

sofőr 運転手

最後の母音が i, í の場合は、その前の母音によって判断します。

radír 消しゴム → 後舌母音語

最後の母音が é の場合は、単語によるが、後舌母音語になることが多い。

szomszéd → 後舌母音語

最後の母音が e の場合は、どちらでもよいことが多い。

hotel ホテル → どちらでもよい